

元消防士が起業 栗原にフィットネスジム 経験生かし住民健康に



コロナ禍乗り越え17日開業

栗原市の消防職員を3月末に退職した同市警界の後藤隆さん(41)が17日、同市築館に「フィットネスジム UGOQ(ウゴク)」を開業する。栗原市はフィットネスジム空白地だが、消防で培った経験を住民の健康増進につなげようという決意を決めた。新型コロナウイルスの影響で、オープンを3カ月遅らせた。

消毒や換気徹底

後藤さんは16年間、地元で消防の仕事に従事した。救急搬送の現場で、筋力の衰えや栄養不足が原因とみられる高齢者を数多く救助し、日頃の健康づくりの必要性を強く感じたという。自身も2016年から筋カトレーニングに取り組んだ。昨年は肉体系を競う大会「ベストボディ・ジャパン」の県代表として全国大会に出場した。

自身の経験を地域の課題解決に生かそうと昨年10月ごろ、フィットネスジムの開業を決意した。栗原市は5年前に唯一のフィットネスジムが閉店して空白地となっていた一方、「今は健康、ダイエットの関心が高まっている」という。営業は平日・土曜が午前9時～午後9時、日曜祝日は午後8時まで、火曜定休。

「密」になりがちなフィットネスジムは各地で利用者が落ち込み苦戦している。後藤さんは4月末の開業を延期しただけで、決意は揺るがなかった。

ウゴクでは日本フィットネス産業協会(東京)のガイドラインに従い、消毒や換気などの対策を取る。会費は都市部より3、4割安くし、家族会員割引なども設けた。

地酒やおつまみ 割安セット販売

塩釜市にゆかりのある「三つの蔵」の地酒と、地元の水産加工会社のおつまみを組み合わせた晩酌セット。酒は「阿部勲 四季の松 純米酒(佐浦)」、おつまみは「純米酒(佐浦)」。特別純米酒「三蔵」の3種類をそろえた。各3000円で、計1700円相当という。

おつまみは販売する店舗によって異なるが、ホヤカキの薫製、おでんなど1000円相当の商品を詰め、晩酌セットの販売価格は1700円で、差額は市が補助する。

文化施設をライトアップ

新型コロナウイルスの感染拡大で苦境にある文化施設の復活を願う、県内の舞台技術関係者がつくる「宮城舞台技術者協会」(今野芳明協会長)は、仙台市民会館や仙台市プラザなど市内7カ所をオレンジ色の照明でライトアップする取り組みを6日に始める。

舞台関係者 仙台であすから 芸術復活 願い込め

定番のオレンジ色の照明を示し、暖かみや穏やかさを演出する。6日を皮切りに7月末までの毎月曜午後8時から1時間点灯する。関係者への支援に感謝するとともに、日常生活に戻れるように祈りたい」と話す。



埋め尽くせ!! ユアスタ

J-1仙台応援Tシャツ発売

選手を応援しよう。Tシャツは、上限付きで観客を受け入れる18日～8月19日の6試合全てで贈られる。チームカラーのゴールドをイメージした山吹色を基調に、紺色でデザインした。多数の参加を促すため、試合のチケットと同程度の2枚の上限となる。

仙台的の昨季の入場料収入は6億1500万円と総収入の4分の1近くを占め、大きな落ち込みは必至。ソーシャル・ディスタンス社会的距離を確保する必要がある。売ったTシャツを身にまとい、応援の声を届けてほしい」と協力を呼び掛ける。

感染防止対策 来場者を制限

南三陸町は、同町志津川のサンオーレでは、海水浴場を8月1日から16日まで開設する。町が策定した新型コロナウイルス感染症の防止対策に沿って運営する。

例年は7月中旬から8月末まで開設していたが、今季は期間を短縮。開設時間は平日が午前10時～午後3時、土日祝日がお盆期間の11～14日が午前9時半～午後4時、海の家の開放がない。人との間隔を空けるため、同じ時間帯の入場を1500人に制限する。疫学調査への協力を目的に、入場口で携帯電話のQRコードを読み込み、氏名、電話番号、メールアドレスを送信してもらう。

文化施設をライトアップ

新型コロナウイルスの感染拡大で苦境にある文化施設の復活を願う、県内の舞台技術関係者がつくる「宮城舞台技術者協会」(今野芳明協会長)は、仙台市民会館や仙台市プラザなど市内7カ所をオレンジ色の照明でライトアップする取り組みを6日に始める。

宮城きょうのお天気

降水確率	6	9	12	15	18	21	0時
仙台東部	30	30	30	30	30	30	24
気仙沼	30	30	30	30	30	30	19
石巻	30	30	30	30	30	30	23
角田	30	30	30	30	30	30	18
仙台西部	30	30	30	30	30	30	24
古川	30	30	30	30	30	30	26
白石	30	30	30	30	30	30	18

<風>東部は北、日中は南。海上は東やや強い。西部は北東のち北。
<波>2.5のち2.5。あすは2.5。

みやぎNPOプラザ

マスク回収箱設置

新型コロナウイルスの影響で、政府が全帯に2枚ずつ配った布マスクのほか、NPOプラザ(仙台市宮城野区)は1日、市民から未使用マスクの寄付を募る回収箱を玄関ロビーに設置し、回収する。回収したマスクは、市民から未使用のマスクの寄付を募る回収箱

みやぎNPOプラザ

みやぎNPOプラザは、市民から未使用のマスクの寄付を募る回収箱を設置し、回収する。回収したマスクは、市民から未使用のマスクの寄付を募る回収箱



みやぎNPOプラザ

みやぎNPOプラザは、市民から未使用のマスクの寄付を募る回収箱を設置し、回収する。回収したマスクは、市民から未使用のマスクの寄付を募る回収箱

みやぎNPOプラザ

みやぎNPOプラザは、市民から未使用のマスクの寄付を募る回収箱を設置し、回収する。回収したマスクは、市民から未使用のマスクの寄付を募る回収箱

みやぎNPOプラザ

みやぎNPOプラザは、市民から未使用のマスクの寄付を募る回収箱を設置し、回収する。回収したマスクは、市民から未使用のマスクの寄付を募る回収箱

県からのお知らせ

各お知らせの詳細内容はお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

- 中学校卒業程度認定試験**
何らかの理由で義務教育諸学校に通えなかった方などを対象に、中学校卒業程度の学力認定試験を行います。合格者は、高等学校の入学資格が与えられます。
●試験日/10月22日(木)
●場所/県庁11階1101会議室
●申し込み/7月6日(月)～9月4日(金)(消印有効)
●出願先/文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課
●義務教育課 ☎022(211)3642
- LINEで気軽に移住相談**
県は、東京・有楽町に「みやぎ移住サポートセンター」を開設し、宮城県に移住を考えている首都圏在住の方々を中心に、さまざまな相談に対応しています。
「相談はしたいけど、窓口まで行くのは難しい」という方のために、移住相談専門のLINEアカウントを開設しました。
「@534ujjeu」でIDを検索してください。
●地域復興支援課 ☎022(211)2454
- 県有財産を一般競争入札でお売りします**
●入札物件/①名取市愛鳥島鳥字字市98番4・宅地330.61㎡(建物付き)②遠田郡涌谷町字柳町17番1・宅地2,308.86㎡③白石市寿山60番12・宅地1,557.57㎡④栗原市栗駒中野五塚地51番1・宅地400.69㎡
●申込期間/7月31日(金)まで
●入札期日/8月19日(水)、20日(木)
●入札会場/自治会館会議室
●管理課 ☎022(211)2353
- 防犯カメラを適正に設置・運用しましょう**
県は、犯罪の抑止などに効果が期待され、普及が進んでいる防犯カメラに関して、適正に設置・運用していただくためのガイドラインを策定しています。
防犯カメラを設置・運用する場合は、このガイドラインを参考にしながら、それぞれの設置目的や運用形態に合わせ、プライバシーの保護などに十分配慮しながら、適正な設置・運用に努めましょう。
詳しくは、下記お問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。
●共同防犯推進課 ☎022(211)2567
- みやぎ食の安全安心取組宣言書募集**
●活動内容/衛生管理、適正表示、記録などに自主基準を定めて取り組んでいることを「むすび丸ロゴマーク」店頭掲示などでPR
●対象/県内の食品関連事業者・生産者
●申し込み/申請書を郵送、Eメールまたはファクシミリで下記(申請書は下記で配布、またはホームページからダウンロード)
●専食と暮らしの安全推進課 ☎980-8570(所在地記載不要) ☎022(211)2643 FAX022(211)2698 Eメール syokua@pref.miyagi.lg.jp
- 愛の血液助け合い運動実施中～行ってみよう少しの勇気で救える命～**
7月は「愛の血液助け合い運動」月間です。病気のやがて、輸血を必要とする患者さんに、血液を安定的に供給するために、献血にご協力をお願いします。
●場所/仙台市内の2カ所の献血ルーム「社の都献血ルームAOBA」および「献血ルームアル20」、各市町村を巡回の献血バス
●募集課 ☎022(211)2652
- 夏季特別展「GIGA-MANGA 江戸戯画から近代漫画へ」**
●日時/～9月6日(日)午前9時30分～午後5時(発券は午後4時30分まで)
●観覧料/一般1200円、シルバー(65歳以上)1100円、小中高生600円
●休館日/月曜(8月10日は除く)、8月11日(火) 専東北歴史博物館 ☎022(368)0106 FAX022(368)0103
- 屋外広告物講習会受講者募集**
県内で屋外広告物を営む場合は、講習会の修了者など一定の資格者を業務主任者として置く必要があります。
●日時/9月3日(木)、4日(金)
●場所/仙台市役所本庁舎6階第1会議室
●受講手数料/4000円
●申し込み期間/7月13日(月)～21日(火)(仮申し込み後に本申し込み必要)
感染症対策のため、受講を制限する場合があります。
詳しくはホームページをご覧ください。
●都市計画課 ☎022(211)3132
- 宮城でも忘れ電話相談【認知症でお悩みの方またはご家族】**
認知症は、さまざまな病気により、理解・判断・記憶などの脳の働きが持続的に低下している症状です。「最近、探し物がなくなった」「怒りっぽくなった」などの心配事について、介護経験者がお話を伺いますので、お気軽にご相談ください。(相談無料、秘密厳守)
●相談/認知症の人と家族の会宮城県支部 ☎022(263)5091
●受付/月曜日～金曜日(祝日を除く) 午前9時～午後4時 ☎022(211)2552
- 宮城障害者職業能力開発校 短期課程 訓練生募集**
●科目/①職域開発科②パソコン基礎科
●内容/①事務分野での基本的な作業やパソコンの利用方法および物流分野でのピッキングや仕分けなどの実務の習得
②視覚障害者の方を対象に、パソコンの基本操作およびビジネスソフト(Word・Excel)の操作技術の習得
●対象・定員/①精神障害者保健福祉手帳所持者・10人②身体障害者手帳所持者・5人
●訓練期間/①10月2日(金)～3月9日(火) ②10月6日(火)～3月8日(月)
●選考日/①9月2日(水)②8月26日(水)
●申込/①は8月5日(水)までに、②は7月31日(金)までに所轄のハローワークへ
●宮城障害者職業能力開発校 ☎022(233)3124 FAX022(233)3125
- 失語症者向け意思疎通支援者養成講座受講生募集**
脳の損傷により言葉が不自由になった失語症者の方の意思疎通などを支援する、意思疎通支援者を養成します。
●対象/県内に在住する満18歳以上の方
●定員/15人程度
●期間/8月2日から12月6日までの全7日間(40時間)で主に日曜日
●会場/仙台市福祉プラザ第4研修室他
●費用/無料(テキスト代別費)
●申し込み/7月15日(水)(必着)までに申込書を下記にEメールまたはホームページの申し込みフォームから
●申込先/宮城県言語聴覚士会 Eメール shitsugo_miyagi@yahoo.co.jp ☎022(211)2541
- 大崎高等技術専門学校オープンキャンパス**
●内容/全体説明、施設見学、体験授業
●体験授業/電気科:LEDの照明器具を点灯させる回路を作る
木の家づくり科:木材を加工して編みかきを作る
●対象/どなたでも参加できます
●服装/動きやすい服装(木の家づくり科体験希望者は上履きを持参ください)
●日時/7月29日(水)午前10時～午後3時30分受付は午前9時30分から
●場所/宮城県大崎高等技術専門学校
●申し込み/不要
●大崎高等技術専門学校 ☎0229(22)1357
- 労働相談窓口**
県は、賃金や勤務時間などの労働条件、解雇、退職などさまざまな労働問題に関する相談に対応する「労働相談窓口」を設置しています。相談内容により、他の適切な機関の情報提供もできますので、下記専用ダイヤルへお気軽にご相談ください。
●受け付け/月曜日～金曜日(祝日を除く)午前8時30分～午後5時15分
●相談/労働相談窓口(専用ダイヤル) ☎022(214)1450
●労働委員会事務局 ☎022(211)3787
- 「家庭の日」絵画・ポスター・川柳募集**
家庭の日(毎月3日曜日)の推進の一環として作品を募集します。
●対象/県内に住む小・中学生・高校生(川柳は大人可)
●テーマ/家族との交流や絆、家庭と地域とのふれあいなどを題材としたもの
●規格/画材は自由・大きさ四つ切程度(版画可)
●応募方法/作品の裏面に学校名、学年、氏名、画題、住所、電話番号を記載し、9月4日(金)(消印有効)までに持参または郵送により下記へ
詳しくはホームページをご覧ください(結果は11月中旬にホームページでお知らせします)
●若青年のための宮城県民会議(共同参加社会推進課内) ☎980-8570(所在地記載不要) ☎022(211)2577

theme 03 | AI AIを、別の視点で考えてみる。人間の神にとらわれない世界は、人間を進化させる。

広告が変わると、社会は変わるか。

JAAA Japan Advertising Agency Association